

センター案内

財団法人

三重県産業支援センター

〒514-0004

三重県津市栄町1丁目891 三重県合同ビル内

<http://www.miesc.or.jp/>

情報支援チーム 059-228-7299

経営支援チーム 059-228-3172

「新産業振興」「技術支援」「情報支援」「経営支援」を始め9つのチーム編成で事業を進める。情報支援チームは本文中に挙げたほか情報提供、人材育成など、また経営支援チームは小規模企業向け融資、ISO取得、経営革新などの支援を行っている。

中小企業支援センターは都道府県および政令指定都市に設置されるものと広域市町村に設置されるものがあるが、今回は、都道府県等のセンターを取り上げる。

主な業務は経営課題解決のための相談およびサポートであり、「ここにくれば問題解決の糸口が見つかる」というワンストップ型のサービスを指している。経営、技術等の専門家を配置し、政府関係機関や商工会議所と連携するなど情報力が高いのも特徴だ。ただ、名称はかならずしも「中小企業支援センター」ではないので注意したい(県)この詳細は「<http://ne21.jasme.go.jp/link/top.html>」。

サービス内容の具体例として、三

公的支援を もつともつと活用しよう

中小企業 支援センター編

三重県産業支援センター紹介

ていることだ。現在、ITCの水谷哲也氏が、サブマネージャーとして活動中である。

情報支援チームが進めている事業のうち代表的なものは以下の三つ。

①窓口相談事業 文字通り経営に関するあらゆる相談に応じ、資金繰りや補助金などのアドバイスも行う。水谷氏によると「ITに限らず各種経営相談に応じている」とのこと、ワンストップ型サービスの窓口としての役割を果たしている。

②専門家の派遣事業 IT、小売商業などに関する問題解決のための専門家紹介派遣であり、費用の3分の2が国および県から補助される。

③電子商取引支援事業 これは同センターならではの事業だ。人口が減少していく中で現在の売上を維持していくために、インターネットによる電子商取引(EC)は今からやっておくべきこと(水谷氏)との認識で、



三重県産業支援センター・サブマネージャー
ITコーディネーター
水谷哲也氏

電子商取引支援事業の一つ 「バーチャルショップみえ」



<http://www.shop-mie.com/>

平成14、15年度にはECに取り組み企業に10万円の補助金を出し、講習会などで指導を行ってきた(補助金は終了)。また、Web上のショッピングモール「バーチャルショップみえ」を立ち上げ、県内企業が手軽にECにトライできる環境を整えた。今後はプレゼント企画などでアクセス数を伸ばすこと、店舗数を現在の2倍に増やすことが目標とのことだ。

三重県はCATVが県内をカバーしており、ブロードバンド環境の先進県でもある。こうしたインフラを活かし、ITを活用した経営革新を支援していく方針だ。水谷氏は「商売上手の方はセンターもITも使い上手。なんでも気軽に相談してほしい」と経営者の積極的な利用を呼びかけている。

重県産業支援センターのケースを紹介しよう。

三重県産業支援センターは津駅から歩いて10分ほどの三重県合同ビル5階にある。館内には各種パンフレットが置かれ、資料の閲覧や会計ソフトの体験利用も可能。気軽に相談ができそうな明るい雰囲気である。

同センターの特徴の一つは、経営相談の専門家であるプロジェクトマネージャーのほかに、ITコーディネーターの資格を有する人材を配置し